

## 学長定例記者会見要項

日 時： 平成30年5月24日（木） 11：00～11：45  
場 所： 法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

### 発表事項

1. 平成31年度の山形大学の学生募集について  
～入学者選抜要項・AO入試学生募集要項・大学案内を6月1日同時公表～
2. 有機材料システム事業創出センター 6月1日開所
3. 山形大学体育会サッカー部が県代表として天皇杯出場

### お知らせ

1. モンテディオ山形応援パブリック・ビューイング企画  
～実践力を身につける人文社会科学部の企業課題解決型実践演習の取り組み～
2. 山形県サイエンスエリート養成プログラム4期生募集  
～山形から未来のノーベル賞科学者を目指そう～
3. ニクニドームやまがた「ゆかたで天文台」のお知らせ
4. 「クラゲマイスター養成講座（初級）」を開催します

### （参 考）

- 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：平成30年6月7日（木） 11：00～11：45  
場 所： 法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

## 学長定例記者会見（5月24日）発表者

### 1. 平成31年度の山形大学の学生募集について

～入学者選抜要項・AO入試学生募集要項・大学案内を6月1日同時公表～

理事・副学長

おおば よしひろ  
大場 好弘

### 2. 有機材料システム事業創出センター 6月1日開所

学術研究院 教授／国際事業化研究センター長

おの でら ただし  
小野寺 忠司

### 3. 山形大学体育会サッカー部が県代表として天皇杯出場

人文学部3年（体育会サッカー部主将）

さ さ き れん  
佐々木 廉

〃 （ 〃 副主将）

おいかわ じゅな  
及川 樹那

理学部3年 （ 〃 副主将）

たかはし だいち  
高橋 大地

工学部3年 （ 〃 副主将）

あいた こうせい  
相田 晃生

平成30年（2018年）5月24日

## 平成31年度山形大学の学生募集について

～入学者選抜要項・AO入試学生募集要項・大学案内を6月1日同時公表～

### 【本件のポイント】

- 受験生が山形大学の情報を得やすくするため、これまで公表時期が別々だった「入学者選抜要項」「AO入試学生募集要項」「大学案内」を同時に公表。
- 6月1日(金)に山形大学ホームページで公表するとともに、冊子の配布を開始します。冊子は山形大学ホームページから請求いただくか、山形大学小白川キャンパス内のインフォメーションセンターあるいは各学部入試担当窓口でも配布します。
- 6月1日(金)付けで、山形県内高等学校等に発送する予定です。



### 【概要】

山形大学は、6月1日(金)に「入学者選抜要項」「AO入試学生募集要項」「大学案内」を同時に公表します。これまでは、これら3つを別々のタイミングで公表しておりましたが、受験生のみなさんが、山形大学の情報をより得やすくするために今年度から同時に公表することとしました。これらの冊子は、6月1日(金)から山形大学ホームページでご覧いただくことが可能です。また、山形大学小白川キャンパス内のインフォメーションセンターあるいは各学部入試担当窓口でも配布します。県内高校等には、6月1日(金)付けで発送することとしています。

### 【昨年度入試からの主な変更点】

#### 人文社会科学部

- ・全コースにおいて、センター試験を課す推薦入試を新たに実施します。また、グローバル・スタディーズコースでセンター試験を課さないAO入試を新たに実施します。
- ・人間文化コースの前期日程において、個別学力検査の教科・科目を「小論文」から「国語」に変更します。
- ・人間文化コースの私費外国人留学生入試において、小白川キャンパス試験場の他に、東京都内及びモンゴル国ウランバートル市内に試験場を設置します。

#### 理学部

- ・センター試験を課す推薦入試を取り止め、センター試験を課すAO入試を新たに実施します。
- ・前期日程において分野別受験を取り止め、学科単位で選抜を行います。

#### 工学部

- ・センター試験を課すAO入試において、センター試験の利用科目に「情報関係基礎」を追加します。

#### 農学部

- ・センター試験を課さないAO入試において、第2次選抜で実施していた面接を第1次選抜での実施に変更します。

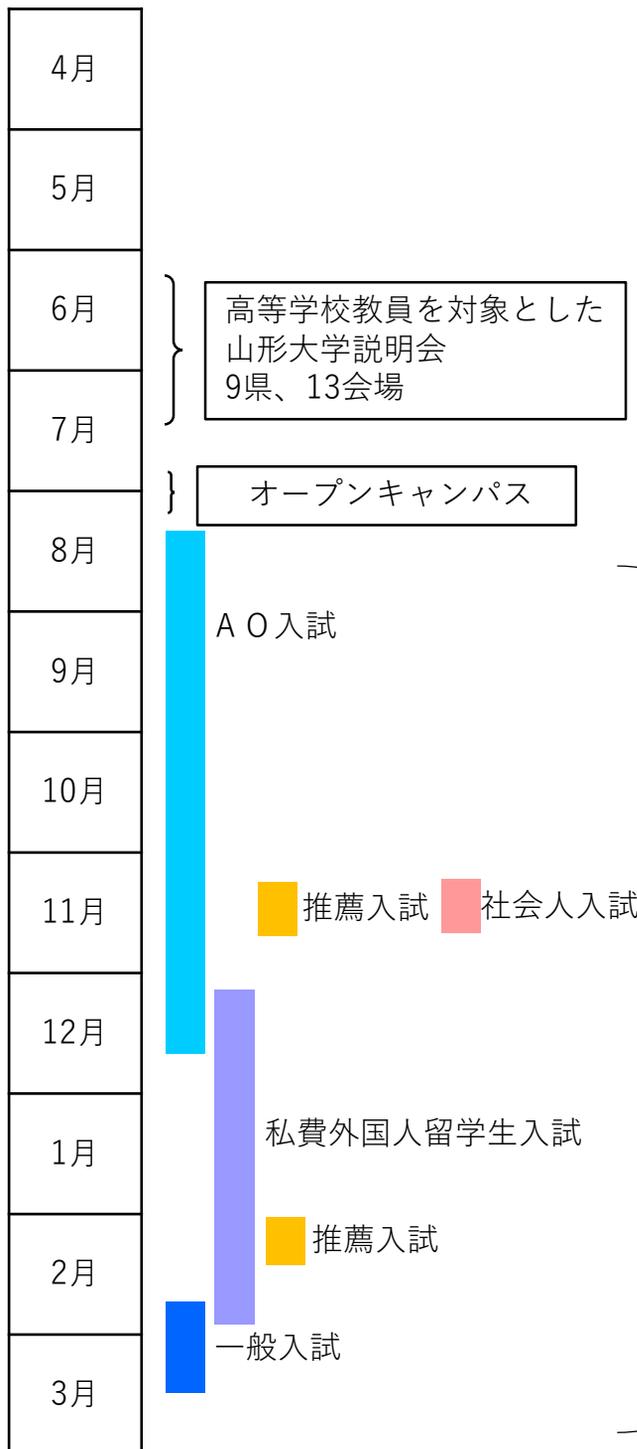
### 【大学案内】

今回の大学案内では、**約600名**の学生が登場し、授業やキャンパスライフなど山形大学の魅力をイキイキと紹介しています。入学してからの学びに加えて、就職、進学などのトピックも掲載し、大学生活全体をイメージできるように作成しました。

お問い合わせ

山形大学エンrollment・マネジメント部入試課  
TEL 023-628-4141

## 学生募集のスケジュール



### 入学者選抜要項

AO入試学生募集要項【6月1日】  
 推薦入試学生募集要項【9月上旬】  
 社会人入試学生募集要項【9月上旬】  
 私費外国人留学生入試募集要項【9月下旬】  
 一般入試学生募集要項【10月下旬】

【 】は公表予定時期



山形大学案内2019

※各入試の日程等は、入学者選抜要項等でご確認ください。

平成30年（2018年）5月24日

## 有機材料システム事業創出センター 6月1日開所

### 【本件のポイント】

- 平成29年7月から整備を進めてきた有機材料システム事業創出センターが完成。
- 山形大学発の先端研究と県内企業の課題をマッチングし、大学／企業／自治体の活動を一元化して事業化を推進する拠点となる。
- 特に医療健康分野、機械金属ものづくり分野、食品・6次産業化分野での事業創出を目指す。

センター外観



### 【概要】

山形大学が米沢市などと共同提案し、文部科学省の地域科学技術実証拠点整備事業として整備を進めてきた「有機材料システム事業創出センター」が米沢オフィスアルカディアに完成し、6月1日に開所します。同センターでは、山形大学が持つ技術案件や社会課題解決のための知見を有効活用し、迅速な事業化ならびに各企業への技術移転の促進に貢献します。今後、行政や地域教育機関と連携して活動を進める中で、地元地域から多くの起業・新事業が継続的に生み出される仕組みを作り、地域活性化と地域雇用の拡大を進め31年度中に10件の事業創出を目指します。

### 【有機材料システム事業創出センター概要】

1階建、約1200平方メートル。センサーシステムなど医療健康分野の設備、3Dプリンタなど機械金属ものづくり分野の設備、常温特殊乾燥機など食品・6次産業化分野の設備を連携企業と共同で利用する。山形大学、山形県、山形県産業技術振興機構、米沢市、米沢栄養大学の5者による共同提案「有機材料システムの事業化加速と山形米沢モデルによる地域活性化」事業（平成28年度文部科学省の「地域科学技術実証拠点整備事業」に採択）に基づき平成29年7月から整備を行ってきたもの。総事業費は8億円。センターの管理・運営は山形大学と米沢市が共同で行う。

### 【開所イベントご案内】

- 日程：平成30年6月1日（金）11:00～
- 開所記念式典（会場：山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター）
- テープカット・内覧会（会場：有機材料システム事業創出センター）
- 記念講演会（会場：伝国の杜 置賜文化ホール）
- 記念祝賀会（会場：上杉城歴史苑）
- ご来賓：文部科学省・山形県・米沢市・米沢栄養大学・山形県工業会・米沢商工会議所  
山形県工業技術センター・山形県産業技術振興機構・他（敬称略、順不同）

お問い合わせ

山形大学国際事業化研究センター（担当：齋藤）

TEL 0238-26-3025 メール ysaito@yz.yamagata-u.ac.jp

平成30年（2018年）5月24日

## 山形大学体育会サッカー部が県代表として天皇杯出場

### 【本件のポイント】

- 本学体育会サッカー部が天皇杯JFA第98回全日本サッカー選手権大会に出場することが決定しました。
- 県代表決定戦では、準決勝で山形大学医学部との接戦を制して勝ち上がり、決勝では、社会人チームFCパラフレンチ米沢に3-1で勝利して代表の座をつかみました。
- 天皇杯には第96回（2016年）大会以来6回目の出場です。



### 【概要】

第22回山形県サッカー総合選手権大会 兼 天皇杯 JFA 第98回全日本サッカー選手権大会山形県代表決定戦において、山形大学体育会サッカー部が優勝し、2年ぶりの天皇杯出場が決定しました。

山形県代表決定戦は、12チームで争われ、山形大学からは体育会サッカー部と医学部サッカー部の2チームが出場しました。両チームともに勝ち進んだ準決勝で「山形大学対決」となりましたが、体育会サッカー部がPK戦までもつれこむ接戦を制して決勝進出。5月13日（日）に山形市球技場で行われた決勝戦では、社会人チームのFCパラフレンチ米沢を相手に3-1で勝利し、2年ぶりに山形県代表の座をつかみました。

天皇杯出場は、今回で6回目ですが、過去の出場大会ではいずれも初戦敗退。天皇杯での悲願の1勝に向け、5月27日（日）に流通経済大学ドラゴンズ龍ヶ崎（茨城県代表）に挑みます。

### 【山形大学体育会サッカー部】

選手、マネージャー合わせて約50名で活動しており、大学グラウンドや山形市球技場を中心に週5日の練習・試合を行っています。監督は主将の佐々木廉（人文学部3年）さんが兼務。第96回天皇杯全日本選手権（2016年）に出場した際は、J2の横浜FCと対戦し初戦敗退。今回の出場が6回目の出場となります。

### 【天皇杯 JFA 第98回全日本サッカー選手権大会】

主催：公益財団法人 日本サッカー協会 / 公益社団法人 日本プロサッカーリーグ

共催：NHK / 共同通信社ほか

出場チーム：88（J1-18チーム、J2-22チーム、アマチュアシード1チーム、都道府県代表47チーム）

大会サイト：[http://www.jfa.jp/match/emperorscup\\_2018/](http://www.jfa.jp/match/emperorscup_2018/)

山形大学体育会サッカー部は、5月27日（日）に茨城県のカシマサッカースタジアムで流通経済大学ドラゴンズ龍ヶ崎（茨城県代表）との1回戦に臨みます。

お問い合わせ

山形大学広報室

TEL 023-628-4008

メール [koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

平成30年5月24日  
山形大学

\* 詳細は別添の資料をご覧ください。

## 1. モンテディオ山形応援パブリック・ビューイング企画

### ～実践力を身につける人文社会科学部の企業課題解決型実践演習の取り組み～

人文社会科学部では平成29年度より、実践力を身につけるために、実践演習を必修で実施しています。モンテディオ山形と連携した「企業課題解決型実践演習a（モンテディオ山形）」では、モンテディオ山形のアウェー戦のパブリック・ビューイング（PV）をモンテディオ山形と共同で実施いたします。

開催日：6月16日（土）18時～20時 ヴァンフォーレ甲府戦

開催場所：人文社会科学部1号館1F103教室

対象：山形大学の学生

参加費用：無料（定員150名）

## 2. 山形県サイエンスエリート養成プログラム4期生募集

### ～山形から未来のノーベル賞科学者を目指そう～

ヤマガタサイエンスアカデミーでは、山形大学と連携機関が共同で、理数系分野に卓越した県内の小・中学生を選抜し、「サイエンスエリート養成プログラム」を実施しています。小学5・6年生、中学1年生を対象に山形大学が山形県などと共同で平成27年度から実施しているもので、今年度は4期生として新たに20名程度を募集します。

対象：県内の小中学校に通う小学5・6年生、中学1年生 20名程度

応募締切：6月15日（金）

選考日：6月30日（土）

## 3. ニクニドームやまがた「ゆかたで天文台」のお知らせ

ニクニドームやまがたでは、毎週土曜日にガイドツアー（天文台一般公開）を実施していますが、7月7日（土）は特別に「ゆかたで天文台」を開催。浴衣又は甚平で天文台にお越しの方は、通常200円のガイドツアー参加料が無料になります。

## 4. 「クラゲマイスター養成講座（初級）」を開催します

世界的に有名な鶴岡市立加茂水族館のクラゲについての科学知識、生態、採取、クラゲ展示の仕方、イベント実施方法等を修得します。すべての講座を受講した後に決められたイベントに参加した方はクラゲマイスター（初級）に認定されます。

開催日時：平成30年7月7日（土）・8日（日）9時～17時頃

開催場所：鶴岡市立加茂水族館（鶴岡市今泉字大久保657-1）

受講料：3,000円

平成30年（2018年）5月24日

## モンテディオ山形応援パブリック・ビューイング企画 ～実践力を身につける人文社会科学部の企業課題解決型実践演習※の取り組み～

### 【本件のポイント】

- 学生たちがモンテディオ山形と連携して、課題解決に向けた取り組みを考え、実施する。
- パブリック・ビューイングを実施することで、学生にモンテディオ山形に興味を持ってもらう。
- 地域密着型のプロスポーツを通じた地域活性化が期待される。



### 【概要】

人文社会科学部では、平成29年度より、実践力を身につけるために、実践演習を必修で実施しています。そのひとつがモンテディオ山形と連携した「企業課題解決型実践演習 a（モンテディオ山形）」で、学生達はプロスポーツの経営のあり方や、スポーツと地域社会との関係を学んでいます。今年度は、新たな試みとして、モンテディオ山形のアウェー戦のパブリック・ビューイング（PV）をモンテディオ山形と共同で実施いたします。今回は、山形大学の学生を対象とした試行的なPVですが、今後、一般の方にも対象を広げることを考えています。また、今回のPVでは、運営方法の習得および意識調査を実施し、地域密着型のプロスポーツを通じた地域活性化の提案に結びつける狙いがあります。

### 【背景】

少子高齢化の進行とともに、地域の活力が失われています。さらに、人口の減少や若年層の都市への流出によって、市場規模が縮小しています。プロ野球やJリーグなどのプロスポーツも例外なくこの影響を受けており、特にJリーグでは、「地元密着」を売りにしているため地域の人口が減少すると、チーム運営に大きな影響を与えます。言い換えると、スタジアムに足を運ぶファンの新規開拓が大きな課題となっています。

モンテディオ山形は、ホームタウン活動を通じて、チームの認知度および社会貢献を行っています。例えば、保育園や幼稚園など若年層を対象としたサッカースクールが行われています。その効果は、スタジアムに応援する小中高生の数として現れています。一方、スタンドで応援する大学生の姿は稀であり、課題となっています。

そこで、授業の一環としてパブリック・ビューイングを実施し、大学生に対してモンテディオ山形を知っていただき、地元チームへの関心を高めることを目指しています。

### 【パブリック・ビューイング】

開催日：6月16日（土）18時～20時 ヴァンフォーレ甲府戦

開催場所：人文社会科学部1号館1F103教室

対象：山形大学の学生

参加費用：無料（定員150名）

### 【今後の展望】

今年度は、試行的にPVを実施し、運営方法や意識調査を行います。ここで得られた知見を生かし、対象範囲の拡大を行っていきます。また、意識調査の結果をもとに今後の企画立案・実行を行い、モンテディオ山形と共に地域経済活性化が期待されます。

※ 企業課題解決型実践演習：企業が抱える問題を学生の視点から解決策の提案および実施により、企画力・分析力などの実践力を身につけることを目的とした授業。

お問い合わせ（メールアドレスの★は@に置き換えてください）  
山形大学学術研究院 准教授（人文社会科学部主担当／環境経済学）杉野 誠  
TEL 023-628-4063 メール msugino★human.kj.yamagata-u.ac.jp

平成30年（2018年）5月24日

## 山形県サイエンスエリート養成プログラム4期生募集 ～山形から未来のノーベル賞科学者を目指そう～

### 【本件のポイント】

- 科学技術を理解し、人類の未来に役立つ産業を生み出す、想像力豊かな理系人材を育成する教育プログラム。
- 小学5・6年生、中学1年生を対象に山形大学が山形県などと共同で平成27年度から実施。今年度は4期生として新たに20名程度を募集。
- ICTを活用した授業で実験の進め方などを学ぶほか、フィールドワークや中高校生対象の研究発表会へ参加するなど充実したプログラム。



### 【概要】

ヤマガタサイエンスアカデミーでは、山形大学と連携機関が共同で、理数系分野に卓越した県内の小・中学生を選抜し、「サイエンスエリート養成プログラム」を実施しています。科学を基盤とする未来を担う人材育成を目的としたもので、プログラムは3年間。選抜された生徒たちは、ICTを活用した授業の受講、科学の甲子園ジュニアの県大会・代表の強化研修会への参加などを通じて研究の進め方、実験の進め方、記録の取り方などを学びます。年度末には翌年度の実験計画を立て、次年度は、それに基づき各自で研究を進めます。大学院生達のサポートを受けながら、各種科学賞への応募をしたり、高校生と一緒に研究発表を行ったりする独自のプログラムです。

これまでに61名が参加しており、今年3月には第1期生6名が修了。今年度は4期生として新たに20名程度を募集します。

【募集要項等】 詳しくはチラシ、Webサイト (<http://www-sci.yamagata-u.ac.jp/ysa/>) をご覧ください。

対象 県内の小中学校に通う小学5・6年生、中学1年生 20名程度

応募締切 6月15日（金）

選考日 6月30日（土）

選考場所 山形大学小白川キャンパス 理学部

※プログラム開始は7月（開校式7月22日（日）を予定しています）

【参考】 平成27年度 1期生 18名（小学生7名、中学生11名）  
平成28年度 2期生 20名（小学生17名、中学生3名）  
平成29年度 3期生 23名（小学生18名、中学生5名）

※ヤマガタサイエンスアカデミー：平成27年度から山形大学と山形県教育委員会が中心となり、県内の科学系機関と連携して小・中学生を対象に理系人材の育成プログラム「山形県サイエンスエリート養成プログラム（ヤマガタサイエンスアカデミー）」を開発・実施しています。

※実施機関：山形大学（理学部・地域教育文化学部）・山形県教育委員会（義務教育課・高校教育課）・山形県商工労働観光部工業戦略振興課・山形県教育センター・山形市教育委員会・山形県立博物館・山形県産業科学館・鶴岡市立加茂水族館

お問い合わせ

■プログラムについて 学術研究院 教授（理学部担当） 栗山恭直

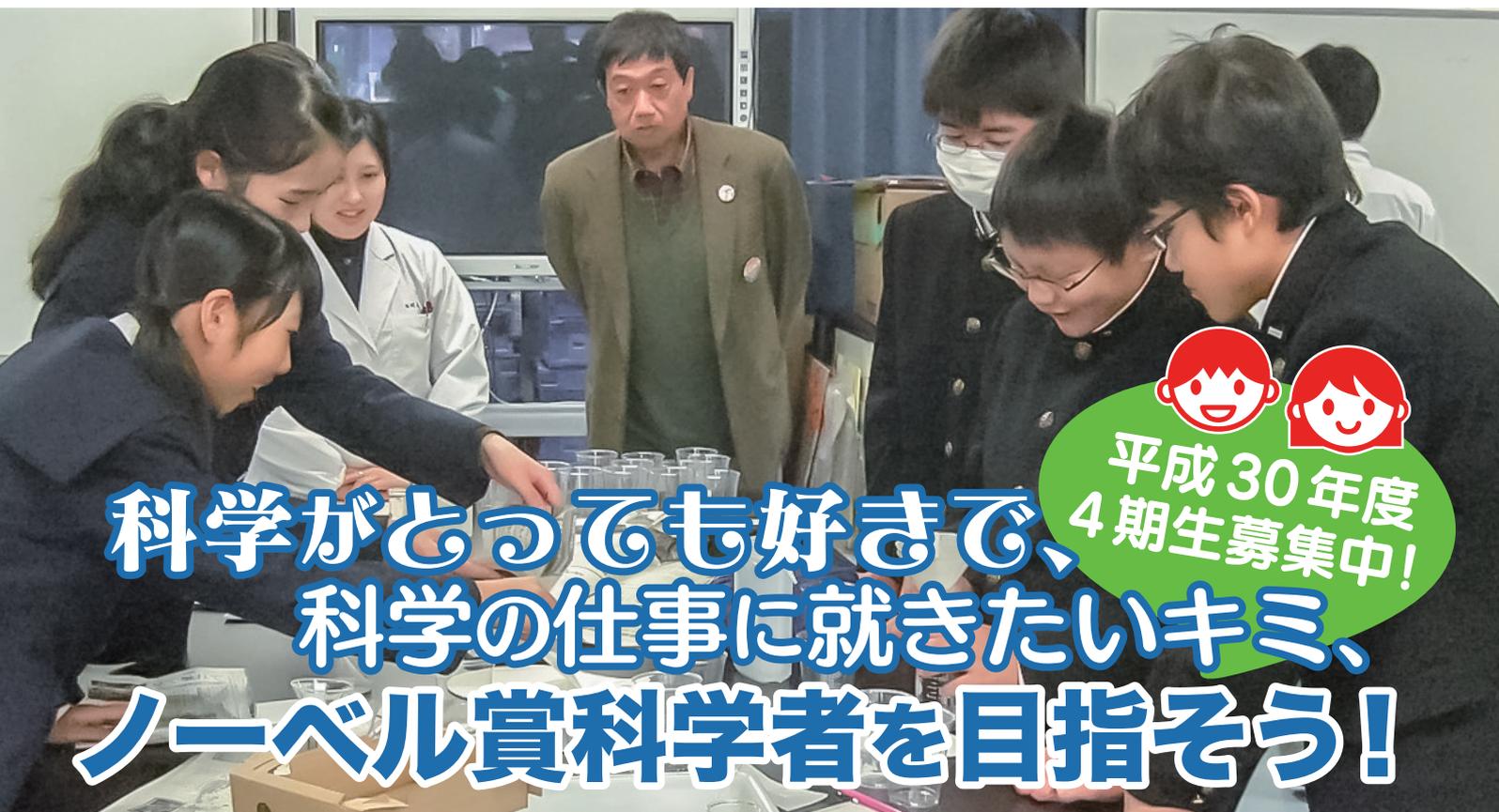
■申込みについて 理学部事務室（総務担当）

TEL 023-628-4502 [ysacademy@sci.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:ysacademy@sci.kj.yamagata-u.ac.jp)



# ヤマガタサイエンスアカデミー

山形県サイエンスエリート養成プログラム



科学がとっても好きで、  
科学の仕事に就きたいキミ、  
ノーベル賞科学者を目指そう!

平成30年度  
4期生募集中!

## ヤマガタサイエンスアカデミーって？

科学技術を理解し、人類の未来に役立つ産業を生み出す、創造力豊かな理系人材を育成する教育プログラムです。理科好きの中学生の「意欲・能力・探究心」を伸ばし、自ら課題を発見し、解決する能力を伸ばすプログラムを山形大学と連携機関が提供します。

## どんなことを学べるの？

エネルギー講座では電気エネルギーの仕組みと電気製品への応用を、生物講座では県民の森でのフィールドワークを通じ、環境の調査・保全に必要な測定・数値化の技術を習得します。

※内容は年度によって変わる場合があります。

## 科学への理解と意欲を高める ICTを活用した授業

授業でのデータ収集や実験ノートの記録だけでなく、事前学習や課題の提出、先生とのコミュニケーション、受講生同士の情報交換、自身の学習記録作成などに、iPadとGoogle for Educationを活用します。

●受講生には、インターネット利用可能なiPadが、一人一台貸し出されます。



iPad

## 募集要項

- 対象： 小学校5・6年生および中学校1年生 20名程度  
※ほぼ毎月1回、土曜日または日曜日に開催される山形大学で行う講座、および土日や夏休みなど学校の休校期間に行われる講座に参加できる方。
- 募集エリア： 山形市内及び近郊を中心に、県内全ての小学校・中学校（山形大学附属小学校・中学校も含む）
- 応募方法： ホームページ内《イベント参加お申込みフォーム》より、もしくは裏面の《応募申請書》に必要事項を記入の上、郵送、FAX、メールのいずれかの方法でご応募ください。  
※《イベント参加お申込みフォーム》へは、右のQRコードからアクセスしてください。
- 費用： 教材費、研修旅行費は全て無料です。ただし、山形大学までの交通費のみ受講者にてご負担ください。
- 選考方法： 山形大学及び山形県教育庁、山形市教育委員会、山形県工業戦略技術振興課の選考委員による『簡単な実験と面接』で選考
- 選考日： 平成30年6月30日（土）
- 選考場所： 山形大学小白川キャンパス 理学部
- 応募締切： 平成30年6月15日（金）



## 《平成30年度ベーシックコース応募申請書》

整理番号（事務局用）

記入日	2018年 月 日		
ふりがな		性別 <small>○で囲んでください</small>	生年月日 <small>※西暦で記入（例：2001/1/1） ※保険加入時に使用します</small>
受講者氏名		男・女	/ /
学校名		学年 <small>○で囲んでください</small>	中学：1年生 小学：5年生・6年生
ふりがな		ご住所	〒 -
保護者氏名			
電話番号・FAX <small>※必ず連絡が取れること ※FAXをお持ちでない場合は、 空欄で構いません。</small>	自宅電話番号： - -	自宅FAX： - -	
	携帯電話番号： - -		
メールアドレス	@		

※予約完了メールをお送りしますので、“@sci.yamagata-u.ac.jp”からのメールを受信可能に設定してください。

### 《個人情報の取り扱いについて》

※ご記入頂きました個人情報は、本プログラムの目的以外には使用いたしません。

※本プログラム実施中に撮影した写真・映像などをホームページや広報媒体等で使用することがあります。

### 《応募書類送付先》

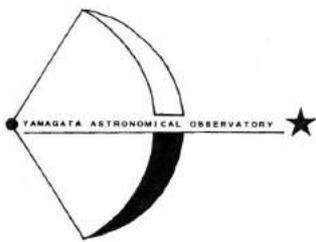
※郵送、FAX、メールのいずれかの方法でお送りください。

※メールの場合、判読可能であれば、画像添付でも構いません。

- 〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12  
山形大学 小白川キャンパス事務部 理学部事務室（総務担当）
- TEL.023-628-4502
- FAX.023-628-4510
- E-Mail : ysacademy@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

※ホームページ内《イベント参加お申込みフォーム》からもご応募いただけます。右のQRコードからアクセスしてください。





ニクニドームやまがた 7月のイベント

## 「ゆかたで天文台」のお知らせ

ニクニドームやまがたでは毎週土曜日にガイドツアー（天文台一般公開）を実施していますが、7月7日は特別に「ゆかたで天文台」を開催します。浴衣（甚平でも可）で天文台にお越しの方は通常200円のガイドツアー参加費が無料になります。

また、四次元宇宙シアターや天文工作、ゲームなども同時に開催し、短冊に願い事を書いて飾ることもできますので、天気が悪くても楽しめる内容となっています。

当日は更衣室と着付けの担当者を用意しますので、着付けが出来なくても浴衣を持参して頂けば参加することができます。

七夕の夜はぜひニクニドームやまがたで、私たち「星のソムリエ®」と一緒にゆかたで星空散歩を楽しみましょう！



日時：2018年7月7日（土）19：00～21：15（受付締切20：15）

場所：ニクニドームやまがた（山形大学小白川キャンパス インフォメーションセンター受付）

参加費：無料（浴衣または甚平以外の服装の場合、ガイドツアー参加費200円）

事前予約：不要

- ・ 駐車スペースがありますので、お車は係員の指示に従って駐車してください。
- ・ 着付けをご希望の方はスタッフにお申し出ください。

お問い合わせ：astro-jim あつと sola.or.jp(あつとは@で置き換えて下さい)

ホームページ：<http://astr-www.kj.yamagata-u.ac.jp/yao/>

主催：特定非営利活動（NPO）法人 小さな天文学者の会



「星のソムリエ®」は 星空案内人資格認定制度運営機構が管理・運営する商標です。

平成30年（2018年）5月24日

## 「クラゲマイスター養成講座(初級)」を開催します

### 【本件のポイント】

- クラゲに関する化学の知識と小さな子ども達への指導方法を学ぶ講座。
- クラゲマイスターの認定を受けると、サイエンス・コミュニケーターとして、地域や子ども達にクラゲの魅力を伝える各種イベントや実験教室で活動。
- 今回で9回目。これまでに約130名がクラゲマイスターの認定を受け、山形県内のみならず各地で活躍している。



### 【概要】

山形大学 SCITA センターでは、鶴岡市立加茂水族館の全面的な協力を得て地域や家庭にクラゲの魅力を伝えるサイエンス・コミュニケーター「クラゲマイスター」を平成22年度から養成しています。7月7日（土）と8日（日）の2日間にわたり、鶴岡市立加茂水族館において開催する「クラゲマイスター養成講座」では、世界的に有名な鶴岡市立加茂水族館のクラゲについての科学知識、生態、採取、クラゲ展示の仕方、イベント実施方法等を修得します。すべての講座を受講した後に決められたイベントに参加した方は、クラゲマイスター（初級）に認定され、『科学の花咲かせ隊』\*隊員として、地域のイベントやボランティアでクラゲの不思議さや面白さを伝える活動を行います。

「クラゲマイスター」は、子どもたちの科学への興味を深めるために、クラゲを通して理科離れに歯止めをかけようと、やまがた『科学の花咲く』プロジェクトが養成しているもので、講座の開催は、今回で9回目を迎えます。今まで約130名がクラゲマイスターに認定されています。

### 【講座内容】

- 開催日時：平成30年7月7日（土）・8日（日） 9時～17時頃  
開催場所：鶴岡市立加茂水族館（鶴岡市今泉字大久保 657-1）  
講座内容：鶴岡市立加茂水族館、山形大学学術研究院教員、関係の専門家が講演・実習を通じクラゲの生態や不思議さなど、クラゲの魅力を伝えるボランティアを養成するための講座を開催します。
- 一日目：クラゲの安全講話・講習・特別講演  
・クラゲの刺傷事故や基本的なクラゲの知識、クラゲの採取方法を学びます。  
・クラゲや海の専門家から講演を受講します。
- 二日目：講演・実習  
・山形大学学術研究院教員がクラゲに関する生態や魅力について解説します。  
・上級クラゲマイスターからクラゲの展示方法、開設方法などを学びます。

【申込方法等】チラシ裏面の申込書により6月22日（金）までに申し込んで下さい。

（定員20名/応募多数の場合抽選）

受講料3,000円

※ SCITA センターでは、「科学の花咲く」プロジェクトとして、科学が文化として地域社会に根付くよう県内各地域、各分野の大学、科学館、研究機関、教育関係者などの連携による科学技術理解の活動充実や活発化、サイエンス・コミュニケーター養成をすすめています。養成されたサイエンス・コミュニケーター（スライムマイスター、クラゲマイスター、蔵王マイスター、月山マイスター）たちは、『科学の花咲かせ隊』として地域や家庭で科学の不思議さや面白さを教えるイベント等で活躍しています。

お問い合わせ  
山形大学 SCITA センター（棚井）  
電話 023-628-4517

第9期

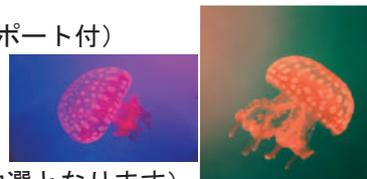
# クラゲマイスター 養成講座(初級)のご案内

やまがた『科学の花咲く』プロジェクトでは、地域や家庭で科学の不思議さや面白さを教える講師や補助者になっていただくサイエンス・コミュニケーターとしてマイスターを養成しています。この度、第9期クラゲマイスター養成講座を鶴岡市立加茂水族館の協力を得て、下記のとおり開講します。様々な種類のクラゲについて、その生態や安全な関わり方などを学び、地域のイベントや科学体験教室でクラゲの魅力を発信するボランティア活動をしてみませんか？

日時・場所	講座内容	講師
<b>【1日目】</b>  平成30年 7月7日(土) 9:10~17:25  鶴岡市立加茂水族館 (鶴岡市今泉字大久保657-1)	開講式・やまがた『科学の花咲く』プロジェクトの概要説明	清野 恵一 (山形大学 学術研究院 プロジェクト教員)
	自己紹介	
	クラゲに対する安全講座~カギノテクラゲの刺傷被害について~	吉田 宏 (鶴岡市立荘内病院 医師)
	クラゲ学習会「クラゲってなーに？」	鶴岡市立加茂水族館
	加茂水族館のクラゲ展示の歴史	鶴岡市立加茂水族館
	安全講習・クラゲ採取 ※実際に海でクラゲを採取します	上級クラゲマイスター
	特別講演 1	今原 幸光 (黒潮生物研究所 和歌山研究室)
	特別講演 2	豊川 雅哉 (国立研究開発法人水産研究・教育機構)
<b>【2日目】</b>  7月8日(日) 9:10~16:10  鶴岡市立加茂水族館 (鶴岡市今泉字大久保657-1)	クラゲの神様・サカサクラゲは変幻自在！	半澤 直人 (山形大学 学術研究院 教授(理学部担当))
	ミズクラゲの体の構造とその形成過程	中内 祐二 (山形大学 学術研究院 助教(理学部担当))
	光るクラゲの秘密	栗山 恭直 (山形大学 学術研究院 教授(理学部担当))
	実習	上級クラゲマイスター
	閉会・受講者の感想・ボランティア活動等についての説明	清野 恵一 (山形大学 学術研究院 プロジェクト教員)
平成30年度 クラゲイベント案内  ※イベントに3回参加し、活動報告を提出した方は上級マイスターの受講資格が得られます	クラゲイベント 7月29日 夏だ！科学体験教室/エスモール (鶴岡市) 8月5日 2018青少年のための科学の祭典in山形 /霞城セントラル(山形市) 9月16日 日本一のいも煮会/山形市馬見ヶ崎河川敷 10月7日 尾花沢まるだしふれあいまつり /尾花沢市文化体育施設「サルナート」(尾花沢市) 11月11日 科学まつりin鶴岡/エスモール(鶴岡市) 11月18日 科学で東北を盛り上げ隊@石巻 /こもればの降る丘 遊楽館(石巻市)	 



- 受講料 / **3,000円** (加茂水族館年間パスポート付)
- 申込方法 / 裏面受講申込書をご提出ください。
- 応募資格 / 高校生以上
- 締切 / 平成30年6月22日(金)
- 定員 / **20名** (応募者多数の場合には抽選となります)



やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター  
TEL・FAX (023)628-4517

E-mail: kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

HP: <http://www.yamagata-u.ac.jp/scita/chiiki/> 担当: 清野・棚井・中川

第9期

クラゲマイスター 養成講座(初級)

受講申込書

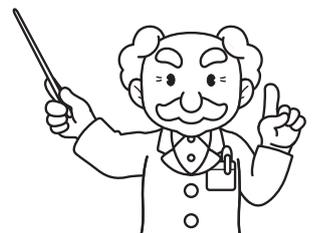
ふりがな 氏名		(所属機関)	(職名)	住所・連絡先
				〒
生年月日	性別			
大正 昭和 平成	年 月 日			TEL (      )      - FAX (      )      - E-mail
応募動機に関して				

※ 傷害保険に加入しますので、所属機関・職名がない方でも住所・連絡先は必ずご記入ください。

※ 受講料は、当日徴収します。

申込  
締切

平成30年6月22日(金)



お申し込み先



やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター

TEL・FAX : (023)628-4517

E-mail : kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

HP : <http://www.yamagata-u.ac.jp/scita/chiiki/> 担当: 清野・棚井・中川